

# 邇摩高校PTA広報



# 百合樹

第 34 号

令和 4 年 2 月 2 8 日

島根県立邇摩高等学校PTA

## ユリノキ

本校が明治36年、大森に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

PTA会長 あいさつ  
「笑顔とプラス思考」

岩木忠男



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、保護者・ご家族の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。また、この三年間、子どもたちをご指導いただきました教職員の皆様にご感謝申し上げます。

皆さんに伝えたいことはタイトル通り

「笑顔とプラス思考」

「笑顔」については、何となく理解していただけたと思います。

「笑う門には福来る」です。

笑顔を調べてみると、免疫力アップ・ストレス解消・脳の活性化：などなど。ですが、私が今伝えたい笑顔の効果とは、ズバリ「印象」と「気力」です。笑顔は好印象として伝わります。そして、自らの気力を上げる力を持っています。

これから進学・就職それぞれの道に進んでいかれますが、人との関わりは必ずあります。楽しいことばかりではなく、時として辛い

こともあるでしょう。そんな時こそ笑顔で頑張ってください。変な人だと思われても笑ってください。きつと道は開ける、笑顔にはそんなパワーがあります。そして「プラス思考」、言葉ではわかっていてもいざ実践となるとそう簡単にはできないかもしれませぬ。ですが、意識して少しでもプラスに考えるようにしてください。

マイナスに考えるのとプラスに考えるのでは、ダメージもかなり違います。

では、どう考えるのか？ 例えば：

- ・ ネガティブな言葉はポジティブに変換
- ・ ポジティブな言葉は口に出す
- ・ 失敗↓勉強・成長の機会ととらえる
- ・ 目標は到達点までを細分化し一つずつクリア
- ・ すべて完璧にこなそうとしない
- ・ できなくても自分を責めない
- ・ 好きなことをする時間をつくる

いつだってプラス思考とはいかないです。時としてマイナス思考から気づくこともあるかもしれません。しかし、プラス思考のほうにきつと楽しむことはできるでしょう。コロナ禍で、イベント等も今までのやり方が出来ず、内容・対策・制限など考えることが多く大変だったと思いますが、結果、大成功で終わりました。これもプラス思考だったからでしょう！邇摩高校で学んだこと・自分の強みに自信をもつて邁進していきましょう。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、邇摩高等学校教職員の皆様、PTA会員の皆様、PTA活動にご協力いただきありがとうございました。

皆様のご協力により、無事に一年間のPTA活動を行うことができました。今後ともご理解・ご協力を宜しくお願い致します。

校長あいさつ

「幸せとは」

黒崎 千春



平素より本校の教育活動にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

三年生はいよいよ卒業です。これまでお子様を支えてこられた保護者の皆様のご感慨は一人であろうと推察いたします。

さて、人の幸せとは、ある禅僧の言葉を引用すると①人に愛されること、②人に褒められること、③人の役に立つこと、④人に必要とされることです。この4つのうち、3つ(②③④)は、働くことによつて得ることが出来ます。

働く上で大切なのは人の役に立つということです。そのために努力し、人に褒められ、人に必要とされれば幸せです。人は誰しも「人の役に立ちたい」という思いを潜在的に持っているものです。内に秘めたるその思いを実践してください。

11月にPTA事業として「いわみ仕事発見バスツアー」に参加させていただきました。江津市にあるドクターリセラを訪問した際に、地元の高校を卒業した入社1年から4年の若い社員4人が質問に答える形で対応してくれました。「入社して成長したことは何ですか。」の質問に、4年目の方は、「入社当時は、全ての方が、先輩で全てが新鮮でいろいろなことを教えていただきました。そして毎年先輩ができ、自分が教えてあげられることが年々増えてきたことです。」と答えました。社会人になれば、仕事を任せられることで責任感や使命感が芽生え、努力し、果たすことで人の役に立ち、褒めてもらうことで自信が付き、さらなる向上心が高まっていく。そして会社にとって必要な人材となっていくます。この4人はまさに幸せそうでした。

一方人を幸せにすることは、人を愛し、人を褒め、人に感謝し、人を必要とすることといえます。この4つを習慣にすると、自然とコミュニケーションもとれ、スムーズに人付き合いができるようになります。これは社会人としての自分の強みにもなります。自分が出来るようなことからチャレ

ンジしてみてください。自分の幸せのために。  
「前むきに」

#### PTA評議員 住田善一

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。今年度は、前年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、年度当初より様々な活動が中止や実施未定となる中で、スタートとなりました。こういった状況下、新しい生活様式の中で、どうやって活動を行うのか様々な工夫をして学校生活をしてきたことと思います。誰もが予想しなかったコロナ禍ですが、このような予期せぬことは、学生生活、仕事、私生活すべてにおいて、これからたくさんあると思います。必ず解決する時が来ますので、明るく前向きにこれからの人生を歩んでいってください。

#### PTA評議員 恒松良和

初めて袖を通すブレザー、初めての汽車通学、初めて出会う同級生、行ってきた声はあまり元気ではなかったけど、まあ君ならそれなりにやっていけるだろう

(勉強の方は...)と思いきり出した三年前、それも残り僅かとなりました。順調にいたっていた学校生活もコロナで思いもよらない事がありました。卒業を迎える日が近づいてきました。思いかえせば、私も邇摩高校の卒業生、両親

も同じ様な気持ちで送り出してきて、周りの保護者の皆さん、諸先生方に見守って頂いたと思うと感慨深いものがありました。最後になりましたが、蓮に関わって頂いた方々に御礼を申し上げます。有り難うございました。卒業生の皆様、これからも頑張ってください。

#### 「卒業おめでとう」

#### PTA評議員 宅和 誠

「早く行くぞ！」の掛け声が天気の良い朝の掛け声でした。車の中で待つてはみるが、なかなか来ない。マイペースな姿に苛立つてはいたが、これからこのようなこともなくなってしまうのだと少し悲しい気持ちにさせられました。三年間の高校生活は、どうでしたか。楽しめましたか。部活動を頑張っている姿、将来の夢(目標)に向かって努力している姿、そして友人たちと楽しく遊ぶ姿を見させてもらい、充実した生活を送っている姿に嬉しい気持ちにさせてもらいました。まだ、夢の先は長いですが、これからも色々な姿を見せてください。最後に三年間ご指導して頂いた皆様方に感謝いたします。ありがとうございました。

#### 「卒業おめでとう」

#### PTA評議員 森山 和良

真新しい少し大きめの制服に身を包み、希望を胸に入学してからもう三年。先生や皆さんの友達に支えられ、充実した高校生活を送れたことでしょうか。

迷わず入部した卓球部。試合では悔しい思いもしましたが、一生懸命駆け抜けた三年間だったと思います。銀の鳥プロジェクトに参加させて頂いた事も、とても貴重な経験となりました。

高校生活で学んだ事や経験した事を忘れず何事にも感謝の気持ちを持って、これからの人生を歩んで欲しいと思います。

最後にお世話になりました諸先生方、またご指導をしていただいた皆様に感謝致します。

本当にありがとうございました。

[邇摩高校 フェイスブック ホームページ](#)  
[ご覧下さい](#)



邇摩高校WEBサイトと連動しており、記事をタップすると、邇摩高校WEBサイトの「お知らせ」に繋がります。

緊急連絡も掲載しています。

邇摩高校WEBサイト



「挨拶をしよう！」

三年学年主任 高下 克己



卒業おめでとうございます。令和2年に学年主任を拝命、皆さんとは2年連続でお付き合いをさせていただきました。楽しかったです。ありがとうございます。

皆さんには挨拶、返事をはじめとして、「凡事徹底」をお願いしてきました。最近ではお互い立ち止まって挨拶を交わすことが自然になってきた人も増えてきました。4月からの新生活においても、ぜひ「気持ちのよい挨拶」、すぐに「はい」という元気な返事を心がけてください。

新社会人や新入生にまずできる仕事は「挨拶と返事」。新人のフレッシュな挨拶には会社や学校の空気を変える力があります。さわやかな挨拶は新人にできる最高の仕事です。上手な「はい」は、相手に体を向け、目を見て元気よく！

人と人とのコミュニケーションは社会生活の基本。円滑な人間関係を構築するためにもこれからも「挨拶と返事」を意識し続けてください。

臨んだ皆さんを懐かしく思い出の卒業生の皆さんへ

三年一組 担任 岩 墨



ご卒業、おめでとうございます。三年前、緊張した面持ちで入学式に臨んだ皆さんを懐かしく思い出します。高校の三年間はいかがでしたか。学校行事や部活動などで、あつという間に過ぎていったのではないのでしょうか。

三年間、皆さんの担任をさせていただきました。特に今年進路決定に向けて懸命に努力する皆さんを、近くで応援することができました。将来に関わる選択をすることは大変なことで、苦しい思いをした人もいましたが、進路選択を通して成長していか姿を見ることができ、うれしく思いました。また皆さんの高校生活は新しい感染症の影響を受け、活動が制限されることが多くありました。それまで当たり前にできていたことができなくなり、悔しい思いをしたこともあったと思います。そのような状況の中でも皆さんは明るく前向きに、高校生活を楽しみながら、目標に向かって進んでいたように感じています。

これから進路先で新たな挑戦をしていくと、思うようにいかないことも必ず出て来ます。挫折や戸惑いを感じることも多くあるでしょう。

そんな時こそ皆さんの前向きさと明るさ、そして元気を大切にして欲しいなと思います。少しぐらい失敗しても大丈夫です。自分に自信を持って、自分の夢を大切に、そして体を大切にして活躍して下さい。応援しています。

これからも「学生」であれ

三年二組 担任 水上 俊人



4月から働く人もいますが、これからも「学生」であれと伝えたいです。私が通勤する時にラジオで「学生」＝「学ぶ生き物」と聞いたからです。

作家の荒俣宏さんは『どのような仕事でも、取り組み始めてすぐに思いがけない良い結果が出たとしても、それは能力があるのではなく、単なるビギナーズラックだと思った方がいい。できない自分、失敗してしまつた自分は悔しくて情けないですが、まずはそれを認め、分析することが力をつける道なのです。』と言っています。働き始めて上手いかなかったり、つまずいても気にする事はありません。逆に自分の力になるとポジティブに受け止め、自分の中に宝（お金ではない財産）をたくさん蓄えましょう。そのためには「学ぶ」ことがとても大事になるはず。未来を自分の力で切り拓いて行ってください。

「ビバ、成人」

三年三組 担任 青木 聡



卒業おめでとうございます。

あの時、呼名してからあつという間にこの日を迎えた気がします。個性豊かなメンバーで、不安を感じつつも乗り越えた一年生、先輩としてあるいは後輩として、学校に慣れすぎた感のあつた二年生、学校の中核として活躍しつつも就職・進学と今後の人生を決めていた三年生。進路が決まらずにずっと苦しんでいたこともありましたが、全部ひっくり返して私は喜怒哀楽する君らを見てるのが好きでした。

友人関係で悩んだこともあったと思います。反面、そういう試練はできるだけ経験した方がいいと思つてました。失敗も歓迎でした。全てが順風満帆とはいかないのがこれからの人生です。自身の成長するための糧だったのだと捉えてほしいです。

君たちは島根の子どもらしさが随所に見られ、地元が大事にはぐくんできたんだなとよく感じていました。これからは自分に挑戦していく時になります。高校生活で体験してきたことを生かして頑張ってください。高校での友人は一生の友人です。大事にして、また5年後、10年後、地元で集まったときにそれまでの生き方を胸を張って語れるようになってください。門出の時、人生をしっかりと楽しもう。

エール

進路指導部 長谷川みつ江

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

高校生活はどうでしたか。残念ながら新型コロナウイルスの影響で私たちの生活は一変しました。進路選択においても活動が制限され、不安を抱えていた人もいたと思います。しかし、その状況下でも自分自身としっかり向き合い、進路を決定することができました。

これからは新しい環境でそれぞれの場所でのスタートとなります。思い描いた進路を実現させるのも、諦めるのも自分次第です。辛いこともたくさんあると思いますが、どんな時も笑顔を忘れずに頑張ってください。あなたの笑顔は相手だけではなく、自分自身を支えてくれるはずですよ。みなさんの活躍を心からお祈りします。

卒業生より

「新しい自分」

三年一組 田中千晶

私は邇摩高校で過ごした三年間で、新しい自分を見つけることができましたと思います。このきっかけとなったのは、地元安来から離れた邇摩高校を選んだことと三年間寮生活を送ったことです。安来にも魅力を感じた高校もありました。

しかし、一から新しい自分を見つけない、農業を学びたい、寮生活を機に自分のことを自分でできるようになりたいと思っただけ、どれも叶う邇摩高校を選びました。この三年間で人前に立つことも増え、今までのように他の人が動くのを待つのではなく、失敗しても自分から積極的に動いていかないと何も変わらないということ学びました。

これから困難なことがあってもチャンスだと思ってチャレンジしていきます。邇摩高校を選んで良かったです。お世話になった皆さん、三年間ありがとうございました。

「支えあつてこそ三年間」

三年二組 柳井 穂

高校三年間を振り返ると、「支え」があつてこそその三年間でした。先生方には日々の授業はもちろん進路実現に向けて丁寧な指導をしてくださいました。毎日楽しく学校生活を過ごすことができましたのは、体育祭などの行事のたびに努力してきたクラスメイトや部活動の仲間のおかげです。そして、三年間欠かさず作ってもらったお弁当、色々な相談に乗ってくれた家族の支えが一番大きいものでした。

新型コロナウイルスという目に見えない恐ろしいウイルスの存在により行事の縮小など様々な制限がある高校生

活となりましたが、たくさん人の支えにより本当に充実した三年間を過ごすことができました。三年間、本当にありがとうございました。

「束の間の出来事、

永遠の思い出」

三年三組 大野 快明

振り返ると、「光陰矢の如し」ということわざがしっくりくるような三年間だったと私は思います。三ヶ月前入学してきたと言っても過言ではないだろうと感じるくらいです。

そんな一瞬に思えた時の中でも「仁心祭」「邇摩高フェア」等のイベント行事、仲良くなり、仲違いもしたりと様々な経験が「思い出」という形で心に残っています。悔いはないと言えれば嘘になります。それも思い返すと良いテキストです。過ごす場所は同じでも一人一人残してきた思い出は違ふと思いますが、私の中の「邇摩高校での思い出」というのは人生で永遠に良いものとして心に残りました。感慨無量です。

困難な日常の中でそんな「思い出」ができたのも支えてくれた人達がいってくれたからあるものだと思います。三年間本当にありがとうございました。

生徒会長より

神在 健心

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうござい

この度、生徒会長になりました二年二組の神在健心です。僕は、一年生の時から生徒会執行部として活動しており、色々な場面で先輩方にはお世話になりました。また邇摩高フェアなどの多くのイベントにも関わらせていただきました。

次は二年生が主体となって邇摩高校をより良い学校にしていきたいと思

三年生の皆さんの今までの活動を見て、邇摩高校の良さをもっと知ってもらい、応援される学校にしていきたいと思

二年間ありがとうございました。

夏の体育祭にて

